

「ドリームステーション Auto」の付属品 ドリームステーション用加温加湿器

【禁忌・禁止】

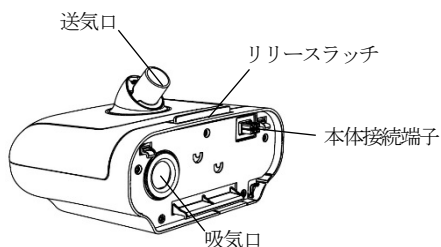
併用医療機器

- ・人工鼻 [人工鼻のフィルタは、加温加湿器との併用により閉塞し、換気が困難となるおそれがある。]

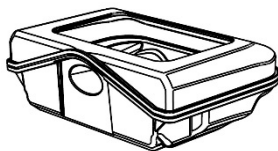
【形状・構造及び原理等】

1.形状及び各部の名称

ドリームステーション用加温加湿器



ドリームステーション用水タンク



2.作動原理

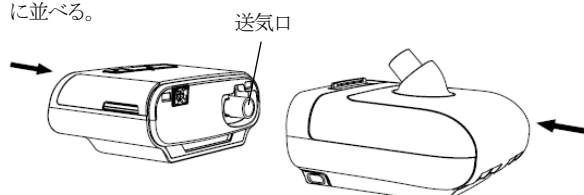
水タンク内の水を加熱プレートで温める。ドリームステーションシリーズ本体から送出されるエアフローが温められた水の水面上を通過する際に、温かい湿気が加えられる。

【使用目的又は効果】

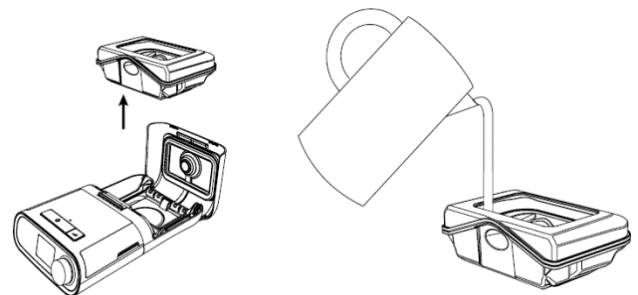
当社の特定する CPAP 装置又はバイレベル装置を使用する際、装置から送出されるエアフローに湿気を与える。

【使用方法等】

- (1) ドリームステーションシリーズ本体とドリームステーション用加温加湿器を、睡眠時に仰臥する位置より低く、硬く平らな平面上に置く。
- (2) ドリームステーションシリーズ本体の背面を、ドリームステーション用加温加湿器の正面（リリースラッチがある面）と向かい合わせに並べる。



- (3) ドリームステーションシリーズ本体の送気口が、ドリームステーション用加温加湿器の吸気口と一列になっていることを確認する。
- (4) ドリームステーションシリーズ本体とドリームステーション用加温加湿器をカチッという音がしてはまるまで押しつける。
- (5) ドリームステーション用加温加湿器のリリースラッチをスライドさせ、ドリームステーション用水タンクを取り外し、加湿用の水を溜めた後、取り付ける。



- (6) ドリームステーションシリーズ本体に AC アダプタ 80 ワットと AC コードを接続し、その AC コードのプラグを電源コンセントに差し込む。
- (7) 呼吸回路をドリームステーション用加温加湿器の送気口に取り付ける。
- (8) ドリームステーションシリーズ本体のエアフローをオンにする。
- (9) ドリームステーションシリーズ本体のコントロールダイヤルを回し、希望する設定に合わせ、加温を開始する。

適用機種

本装置が接続可能なドリームステーションシリーズの機種は以下のとおり。

販売名	承認番号又は認証番号
ドリームステーション Auto	22800BZX00007000
ドリームステーション Pro	22800BZX00314000
ドリームステーション BiPAP Auto	22800BZX00348000

＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

- ・ドリームステーション用加温加湿器は、必ずマスクの呼吸回路接続部より下に設置する。また、適正な作動のため、必ず水平に置く。
- ** ・ドリームステーション用水タンクに入れる水は、水タンク内でミネラル成分が生成されないようにするため、可能な限り室温の蒸留水又は精製水を使用する。水に化学物質又は添加物を入れない。[気道の炎症又は水タンクへの損傷が起こる可能性がある。]
- ・水タンクを本装置内部に入れたまま水を補給しない。

- ・水がこぼれるのを防ぐため、水タンクに水が入っているときは、本装置はドリームステーションシリーズ本体から取り外さない。ドリームステーションシリーズ本体を取り外す前に、本装置から水タンクを外す。
- ** ・水タンクを取り外す前には、加温加湿器の設定をオフ、ドリームステーション シリーズ本体の電源をオフにして約 15 分間加温加湿器のヒータープレートと水を冷ます。〔ヒータープレート、熱湯、または水タンクの金属部に触れると火傷をする可能性がある。〕
- ** ・水タンクに残った水は毎日捨て、洗浄する。〔カビや細菌が繁殖する可能性がある。〕

【保管方法及び有効期間等】

耐用期間

5 年 [自己認証データによる]

【保守・点検に係る事項】

1. 使用者による保守点検事項

詳しくは本体付属の取扱説明書にあるクリーニング及びサービスに関する記載を参照する。

(1) クリーニング

1) ドリームステーション用加温加湿器

加温加湿器基部及び加熱プレートは治療機器から外した後、湿った布で拭き、自然乾燥させる。送気口は湿ったブラシ又は湿った布を開口部に約 7cm 挿入してクリーニングする。

** 2) ドリームステーション用水タンク

在宅または院内で一人の患者に使用する場合：

- ・手洗いは毎日行うことが可能。食器洗浄機を使用する場合は週 1 回まで可能。
- ・水タンクを食器洗い機（上段のみ）または中性洗剤を溶かしたぬるま湯で洗い、水ですすぎ洗いし、水タンク全体の水分を完全に拭き取り、自然乾燥させる。

在宅で水タンクに水道水を補給する場合：次の手順でメンテナンスを行う。この作業は月に 1 回以上の頻度で必要に応じて行う。

- ・水タンクを加温加湿器から取り外し、水を含ませた布で水タンク内部を拭き、ゴミなどを取り除く。
- ・希釈していない 5% 酢酸溶液に最低 4 時間、または水タンクの水垢が取り除かれていることが目視で確認できるまで浸し、十分にすすいでから自然乾燥させる。

院内で複数の患者に使用する場合：別の患者に使用する前に、以下の手順に従い洗浄する。

- ・酵素系中性洗剤で静かに洗浄し、柔らかい毛のブラシを使用し付着物を丁寧に除去する。すみや隙間は、特に念入りに洗浄する。少なくとも 11.4 リットル以上の水の中でしっかりすすぎ洗いをする。水気を完全にふき取った後、自然乾燥させる。
- ・適切に洗浄されていない場合は洗浄を繰り返す。

摩耗や破損が見られる場合は、当社または販売店に連絡して交換する。

3) 呼吸回路接続口

湿った瓶用のブラシ又は湿った布で、接続口の開口部から約 7cm 挿入し、洗浄する。

(2) 消毒

以下の方法により、水タンクは最大 60 回消毒することができる。

- ・熱消毒（75℃ ± 2℃の熱水に 30 分間浸す）
- ・消毒剤：ディスポーバ® 消毒液 0.55%（Cidex OPA）を使用

2. 業者による保守点検事項

耐用期間内は定期的な点検を必要としない。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

* 製造販売業者：株式会社フィリップス・ジャパン

<緊急連絡先>

** 1. 平日 9:00～17:30

地域支店

※地域支店の連絡先は検索サイトより

「フィリップス スリープ&レスピラトリーケア事業部 事業所一覧」でご検索下さい。

2. 平日 17:30 以降～翌 9:00、土・日曜日と祝祭日

機器安全センター 0120-633881

製造業者： Respironics, Inc.

レスピロニクス インク

アメリカ合衆国